

⑩ 日本国特許庁 (J P)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U) 平 1-163280

⑬ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成 1 年 (1989) 11 月 14 日

F 16 L 3/12
B 60 R 16/02
H 02 G 3/26

E-7031-3H

V-7443-3D

D-8834-5G

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 2 頁)

⑯ 考案の名称 ワイヤハーネス用クリップ

⑰ 実 願 昭 63-59893

⑱ 出 願 昭 63 (1988) 5 月 6 日

⑲ 考 案 者 秋 葉 佳 則 埼玉県大宮市日進町 2 丁目 1910 番地 関東精器株式会社内

⑳ 出 願 人 関東精器株式会社 埼玉県大宮市日進町 2 丁目 1910 番地

㉑ 代 理 人 弁理士 谷 山 輝 雄 外 3 名

㉒ 実用新案登録請求の範囲

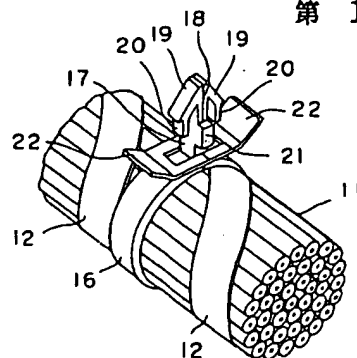
全体が弾性を有する熱収縮性樹脂で形成される略 C 字状の带状片 16 の一端に主支柱 17 を他端に副支柱 18 をそれぞれ立設し、これらの両支柱 17, 18 に互いに係合する係合部 21, 23, 24 を設け、前記両支柱 17, 18 の先端部に前記带状片 16 に向けて延びる可撓性の係止アーム 22 を設け、該係止アーム 22 の先端にパネル等の取付板 9 に設けた開口部 10 に係止する係止爪 20 を突設し、前記带状片 16 をワイヤハーネス 11 に巻回した後、前記両支柱 17, 18 を合体し、しかる後带状片 16 を熱収縮させてワイヤハーネスに緊締せしめることを特徴とするワイヤハーネス用クリップ。

図面の簡単な説明

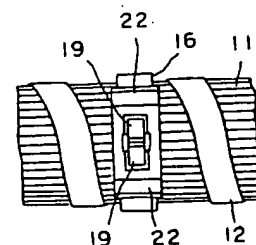
第 1 図は本考案よりなるクリップをワイヤハーネスに取付けた状態の斜視図、第 2 図はその平面図、第 3 図はクリップのみの側面図、第 4 図イ、ロは支柱の結合部を示した断面説明図、第 4 図ハ、ニはその他の実施例を示した断面説明図、第 5 図はワイヤハーネスをクリップを介して取付板に保持させた状態の断面説明図、第 6 図は従来のワイヤハーネス締付具の斜視図、第 7 図はその取付状態を示した斜視図である。

15……クリップ、16……带状片、17……主支柱、18……副支柱、19……係止アーム、20……係止爪、21……結合爪、22……弾性片、23……爪、24……係止孔。

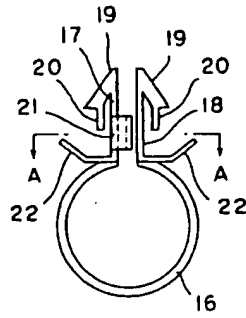
第 1 図



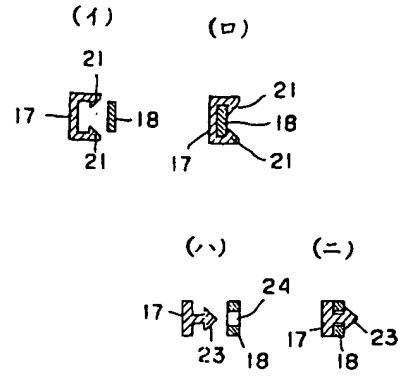
第 2 図



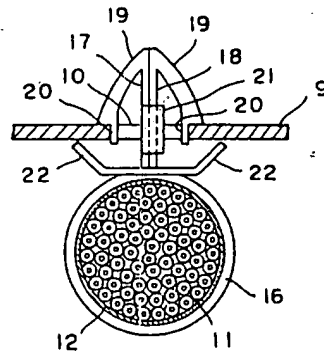
第 3 図



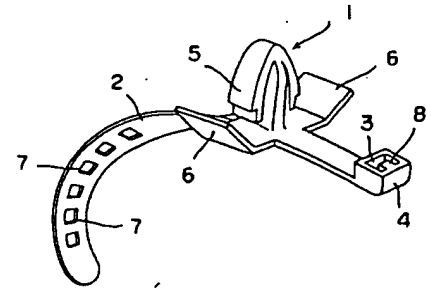
第 4 図



第 5 図



第 6 図



第 7 図

